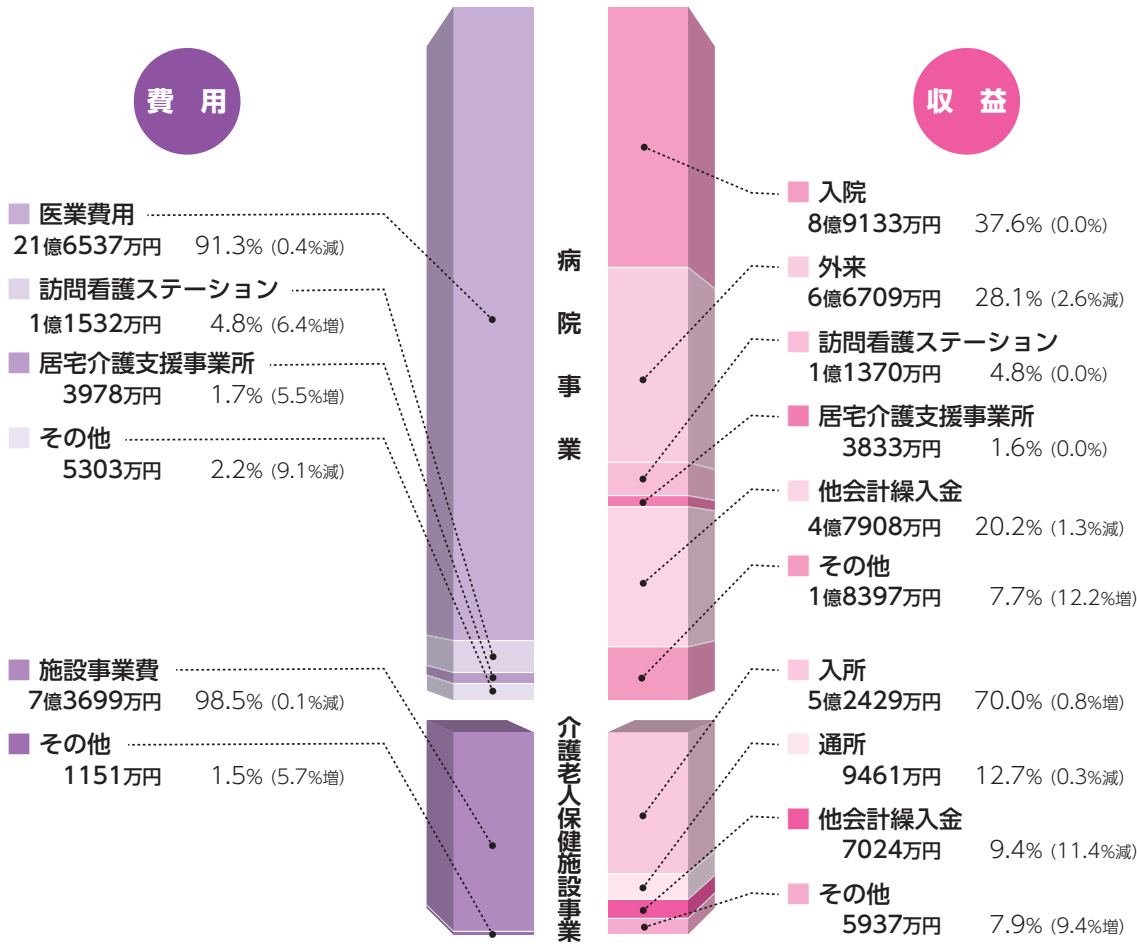


持続可能な病院運営に向けて、
経営改善と病院建て替えに取り組みます

収益的収支総額 **31億2200万円** (0.1%減)
 病院事業 **23億7350万円** (0.2%減)
 介護老人保健施設事業 **7億4850万円** (0.0%)



※収支の各項目と予算額、収益・費用それぞれに占める割合。()内は同項目の前年度比増減。

令和8年度の病院事業会計予算は、病院事業と介護老人保健施設(そつさぬくもりの郷)事業を合わせ、前年度比0.1%減の総額31億2200万円となりました。
 岡市民病院 ☎72・1525

市民病院では、地域の中核病院として将来にわたり持続可能な病院運営を目指し、経営健全化に取り組んでいます。今年度も、事業の見直しなどによる経営改善に努め、経営の健全化を図ります。病院建て替え事業では、開発許可申請などの経費を計上し、事業の推進を図ります。また、そうさぬくもりの郷では、利用者数の確保に努め、経営の健全化を推進します。

一般会計からの補助は、法令など国の基準に基づく基準内補助に該当する6億249万円で、その約4割が国から補てんされる見込みです。

収益的収支

収益的収支は、病院の経営活動に伴い発生する収益と費用を計上するものです。

収益の内訳は、入院・外来による収益や一般会計からの繰入金などです。費用の内訳は、職員給与の他、診療に必要な医薬品や材料の購入費、

病院運営のための各種委託料や医療機器の賃借料などです。事業費として、病院事業で23億7350万円(前年度比0.2%減)、介護老人保健施設事業では、前年度とほぼ同額の7億4850万円を計上しました。

資本的収支

資本的収支は、医療機器などの整備費用とその財源を計上するものです。

資本的収支では、収入に企業債や一般会計からの出資金など2億1256万円(前年度比54.2%減)を計上し、支出にマンモグラフィ撮影パソコンなどの医療機器の購入や施設整備、企業債の償還金など2億5214万円(同51.1%減)を計上しました。病院建て替え事業では建設事業等支援業務委託料などの経費を予算計上し、それらの財源に充てるため、4240万円の企業債の借入れを予定しています。



「自分を信じて全力で泳ぐ」

宇井さんがジュニアオリンピックに出場

宇井孝祐さん（高）が、「第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」に出場します。

宇井さんは、昨年12月に東京都で開催された「2025年度都県選抜対抗水泳競技大会」の男子50m自由形小学4年の部で29秒89を記録。全国大会標準記録を突破し、ジュニアオリンピックの出場権を獲得しました。

3月10日に宮内市長を表敬訪問した宇井さんは、「きつい練習を乗り越えた自分を信じて、自己ベスト更新を目指し、全力で泳ぎたい」と力強く意気込みを語りました。

※大会は3月27日～30日に東京都で開催。



ジュニアオリンピック（水泳）に出場する宇井さん



◀ 2人1組で行われた植樹（野田小）



▶ 代表で挨拶を行う児童（栄小）

学校生活を見守る宝物に

栄小と野田小で桜を植樹

栄小学校と野田小学校で2月17日、桜の若木の植樹が行われました。

これは、ボランティア団体「明るい社会づくり委員会」が、命の尊さや優しい心の大切さを子どもたちに知ってもらうため、実施しているものです。市内の小学校では令和4年から取り組みが進められています。

植樹式には、同会メンバーや学校関係者、6年生の児童が参加し、児童たちと同じ年齢（樹齢12年）の桜の木を2人1組で植えました。代表児童挨拶では、「私たちは卒業しますが、この桜は学校生活を見守る大切な宝物になると思います」、「桜の成長とともに、大きく成長できるように頑張ります」と植樹に込めた思いなどが語られました。

子どもたちが熱戦を繰り広げる

ニュースポーツ大会が開催

市内の小学生が、大会ギネス記録更新への挑戦とユニカールを行う「ニュースポーツ大会」が2月28日、八日市場ドームで開催されました。

参加児童85人は、友人同士で競い合いながら、ぞうさんがけ20m走やシャトル遠投など全6種目で大会ギネス記録の更新に挑戦。会場の各所で楽しそうな声が上がっていました。また、チームで挑むユニカールでは、チームメイトと戦略を練り、力を合わせながら熱戦を繰り広げていました。



チーム戦で行われたユニカール

60年ぶりの祭礼が野手浜で実施

多くの見物客に見守られながら「お浜降り」



見物客が見守る中、神輿は海へ

野手浜で3月8日、松崎神社（多古町）の神幸祭が60年ぶりに執り行われました。

同神社で行われた出発式の後、野手浜に移動した一行は本祭として、神輿を海に担ぎ入れる「お浜降り」で五穀豊穡や無病息災などを祈願。会場には、60年に一度の祭りを一目見ようと、多くの見物客が訪れました。また、地元の団体や同じく野手浜で神輿を海に担ぎ入れる神事を行っている六社大神（野手）の祭礼関係者などがお囃子や神輿の担ぎ手として協力し、祭りを盛り上げていました。